

杉並総合高等学校 令和6年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

单位数： 2 单位

使用教科書：（大修館「言語文化」）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言葉の価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、国語の能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	国語で適切かつ効果的に表現する能力や、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を持てるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数				
			話・聞	書・読									
1 学期	A「世界を見わたす窓」 【知識・技能】我が国の言語と文化の関係について理解できる。【思考力・判断力・表現力】文章に表れているものの見方、考え方をとらえる。【主体的に学習に取り組む態度】言葉の価値への認識を深めようとする。	・言語と文化の関連について考える ・比喩表現を自分の言葉で言い換える ・ワークシートとteams上の課題の活用		○	○			○	○	○	3		
	B「羅生門」 【知識・技能】読書の意義について理解する。【思考力・判断力・表現力】作品に表れている感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。【主体的に学習に取り組む態度】言葉の価値に気づき、社会に関わろうとする。	・読書の意義について考える ・場面設定や人称視点について知る。 ・場面ごとと人物の心情の変化を読み取る。 ・ワークシートとteams上の課題の活用			○	○			○	○	○	8	
	定期考査								○	○		1	
	C「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」 D「兄のそら寝」「百人一首」 【知識・技能】文語のきまりを理解する。【思考力・判断力・表現力】異なる時代の物語を読み比べる。【主体的に学習に取り組む態度】古代と現代の繋がりを理解しようとする。	・古文を学ぶ意義について考える。 ・基礎的な古文文法（歴史的仮名遣い、品詞分類）を修得する。 ・ワークシートとteams上の課題の活用				○			○	○	○	8	
	定期考査									○	○		1
2 学期	E「夢十夜」 【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な語句を文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【思考力・判断力・表現力】文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【主体的態度】作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。	・作品の表現に着目しながら読む。 ・夢の中の表現がどのような心情を表しているのか読み取る。 ・夢の中野表現による寓意を読み取る。 ・ワークシートとteams上の課題の活用		○	○							8	
	定期考査									○	○		1
	F「伊勢物語」 【知識・技能】表現の技法とその効果を理解する。文章の背景を理解する。【思考力・判断力・表現力】成立した背景を踏まえ、解釈を深める。【主体的に学習に取り組む態度】物語の内容や背景、人物の思いを捉えようとする。	・古文文法（活用する付属語）を修得する。 ・読解に必要な文法と語句を修得し、古文の内容理解をする。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・ワークシートとteams上の課題の活用		○	○					○	○		8
3 学期	G「雑説」 【知識・技能】我が国と外国の文化との関係について理解する。訓読について理解する。【思考力・判断力・表現力】文章の種類をふまえて、叙述をもとに内容を的確にとらえる。【主体的態度】言葉をとおして社会に意欲的に関わろうとする。	・唐代の文章を音読し、漢文独特の口調に習熟する ・文章表現の特色と論の展開のしかたについて理解する ・ワークシートとteams上の課題の活用		○	○							8	
	H「わたしが一番きれいだんとき」 【知識・技能】言葉には、文化の発展、創造を支える働きがあることを理解する。【思考力・判断力・表現力】作品や文章の背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深める。【主体的態度】詩に興味をもち、作品の背景と内容を理解しようとする。	・作品の背景をふまえて、内容を理解する。 ・ワークシートとteams上の課題の活用		○	○							5	
	定期考査									○	○		1
											合計	51	